

食品向け「 α -CD」

小型LDL低減効果も

積抑制や血糖値上昇の抑制効果によるものと推測されている。

シクロケムは昨年、 α -CDを配合した栄養補助食品で、消費者庁から「血糖値の上昇を抑える」機能性表示食品として受理された。今回の、小型LDLの低減効果についての機能性表示も現在、申請中。

小型LDLの低減効果が確かめられたオリゴ糖は α -CDだけ。また食後の血中中性脂肪上昇抑制には、一般的な難消化性デキストリンが1回の食事当たり5g必用なのに対し、 α -CDは2gと少量で効果を発揮する。こうした優れた機能から同社は α -CDを

シクロケム

シクロケムは世界最大のシクロデキストリンメーカー、独ワッカ―ケミーの総代理店として食品、医薬品、化粧品、トイレタリー、繊維など幅広い産業分野にCDを供給している。同社の強みは研究開発力。CDの持つ機能を科学的に解明し、エビデンスに基づき優れた機能性化学品として応

用領域を広げている。食品用途が中心の「 α -CD」は、食物繊維としてCD、その素材自体が持つ優れた機能が相次いで解明されている。血糖値上昇、中性脂肪蓄積の抑制など優れた効果があるが、最近の研究で明らかになったのが小型LDLの低減効果だ。

一般的に悪玉コレステロールと呼ばれるLDLは、大きさにより2種類に分けられ、動脈硬化などを引き起こす物質

は直径25・5ナノメートル未満のLDLであり、この小型LDLこそが「真の悪玉コレステロール」であることが解明されている。 α -CDは、この小型LDLを低減する働きがあることが、米国立衛生研究所が行ったヒト試験で確かめられた。小型LDLの血中濃度は中性脂肪の量、およびインスリン抵抗性の高さとも明確な相関があることから、小型LDLの低減は、 α -CDの持つ中性脂肪蓄

積抑制や血糖値上昇の抑制効果によるものと推測されている。

「スーパー難消化性 α -オリゴ糖」として差別化を図り、加工食品サプリメントメーカーなどへ広く採用を働きかけていく。

α -CD包接体にも力を入れている。ニュージーランドのマヌカヘルス社と提携し、現地で採れる高級ハチミツ「マヌカハニー」の α -CDパウダー(MAP)を展開、需要も拡大している。新商品ではオメガ3不飽和脂肪酸を多く含むアマニ油の包接体を開発した。アマニ油にも小型LDLを減少させる効果が確認されており、 α -CDとの相乗効果が期待できる。

健康食品として近年、注目されているキャメルミルク(ラクダ乳)の包接品も新開発している。キャメルミルクをCD包接によりパウダー化することで、腐りやすく日持ちしないという課題を解消した。提携先企業が、モンゴルに工場を建設中で、6月中の稼働開始予定となっている。

α -CDは、「コエンザイムQ10」、「R- α -リボ酸」、「L-リカルニチン」など、機能性素材の包接向けの需要が順調に拡大。こうした素材は生体を維持するための重要な機能性成分であり、同社は「ヒトケミカル」と名付け普及に力を注ぐ。

α -CD包接の集大成と位置づけているのがプロポリス。このほどプロポリスニュージーランド社と提携、有効成分である桂皮酸誘導体「CAPE」(「コヒー酸フェネチルエステル」)を豊富に含むプロポリスの輸入契約を結んだ。

健康食品として近年、注目されているキャメルミルク(ラクダ乳)の包接品も新開発している。キャメルミルクをCD包接によりパウダー化することで、腐りやすく日持ちしないという課題を解消した。提携先企業が、モンゴルに工場を建設中で、6月中の稼働開始予定となっている。

α -CDは、「コエンザイムQ10」、「R- α -リボ酸」、「L-リカルニチン」など、機能性素材の包接向けの需要が順調に拡大。こうした素材は生体を維持するための重要な機能性成分であり、同社は「ヒトケミカル」と名付け普及に力を注ぐ。